

高退協ニュース

二〇一七年度高知県高齢期運動連絡会 総会

町から村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう!!

小澤 幸次郎

去る五月二十四日(水)午後一時半より、こうち男女共同参画センターソールにて開催され四十二名が出席しました。記念講演は「高齢者を取りまく情勢とこれからの高齢期運動」講師は、篠崎次男氏(日本高齢期運動連絡会顧問)、小澤幸次郎会長のあいさつについて、高橋健事務局長より①二〇一六年度のまとめと②二〇一七年度の方針(案)、③二〇一六年度収支報告と④二〇一七年度予算(案)⑤規約変更について⑥役員改選について一掃提案され、質疑討論が行われました。その中で、特に②について、来る十月二十八日から二十九日にかけて沖繩で行われる第31回日本高齢者大会に積極的に参加されることが呼びかけられました。また、③について

は、名称を、「高知県高齢期運動連絡会」に変更することが、さらに④については、彼未明副会長が辞任し、幹事となり、後任の副会長に中越恵一幹事(年金者組合)が選出されました。他の役員は留任。活動報告では、母親運動連絡会の畑山佳代会長、全日本年金者組合高知県本部副執行委員会の尾原明広氏、高知医療生協の高橋健組織部長がそれぞれ行いました。最後に、議案は、満場一致で採決され、彼未明幹事(前副会長)の閉会あいさつで午後四時閉会し



高齢期運動連絡会総会から

8・15 戦争を語りつぐつどい ご案内
 今年のテーマは、戦争遺跡を「平和の砦」に今、戦争遺跡に何を語らせ、何を継承するのかです。

日時 8月15日(火) 9:50~12:00
 会場 高知県人権啓発センター 6階ホール
 参加費 500円
 記念講演 「戦争遺跡が現代に伝えるもの」講師 出原恵三さん(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表、平和資料館・草の家副館長)
 *詳しくは、同封のピラをご覧ください。

- 祝・米寿**
- 野田 三七郎 (高岡郡佐川町)
 - 間 吉夫 (南国市朝倉)
 - 植松 康勲 (高知市秦南町)
 - 寺尾 俊介 (高知市土佐山田町)
 - 中山 正彦 (香美市比島町)
 - 濱田 隆史 (高知市比島町)
 - 松本 敏彦 (高知市神田)
 - 吉本 信明 (高知市長尾山町)
 - 山川 久三 (高知市板橋区徳丸)



No. 207
 2017年
 7月4日
 発行 協局
 高知 高退協
 事務 事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
 高知市丸の内2丁目1番10
 高知城ホール高教組交付
 連絡先 Tel. 088-822-6822
 郵便振替口座 〇一六五〇二二一八九三

ました。
 *活動報告
 畑山佳代会長「日本母親大会のとりくみと支援(二)岩手八月一九日〜二十日」
 尾原明広氏「国の責任で若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願署名運動」
 高橋健氏「医療生協らしい地域包括ケアにむけての高知市ブロッコの実践などの報告でした。」

高知教職員山の会「解散」

27年間
 304回 181名
 の方が山に向った

和田 明

高知教職員山の会は、1990年、会が発足し、2017年5月10日解散した。27年間、304回、181名の方が、山に向った。



2016年初歩き 高知教職員山の会

運営委員8名が、「多角的に検討しましたが、現状では解散もやむを得ない」との結論だそうですが、「解散」と提案される8名の運営委員を除いて、対案を出す力を持ち合わせてないのでは、特に、2月に、会員の意見を集約したいと22名の会員に手紙を出し、意見が1件のみであったと言ふことは、この会の存在意義が、運営委員にお任せで、自分の好きな例会に参加して、山を楽しむ、会員自らが良い会に育てると言うことが欠

会員でありながら、私は、個人山行が好きで、月3回の登山計画を立て、山に向かっています。登山と言うより、山岳ドライブです。私たちが、親しんだ楓が森も、4月1日から、山荘が閉鎖されました。餅つきをし、正月を迎え、7月の山開きには、剣舞や、大学生の奇術を楽ししく思い出します。山開きは、7月2日に行なわれます。避難小屋も使用可能です。側面から、高知教職員山の会を語りました。初歩きは、高退協事務局に山男・元祖山ガールが居るのでうまく運営できるでしょう。

訃報
 竹本 長生さん
 6月4日逝去
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
 ・・・・・
 お詫び 206号の哀悼欄で竹島義典さん逝去とご連絡いたしました。竹村義典さんの誤りです。申し訳ありませんでした